

評 価 結 果

農業農村整備事業等再評価結果書

評価主体	都道府県名	事業名	地区名	事業主体名	項目													事業主体の実施方針	事業主体の予算要求方針	技術検討会の意見	補助金交付の方針	備考
					ア		イ		ウ		エ			オ	カ	キ	ク					
					①	②	①	②	①	②	①	②	B/C				その他					
関東農政局	千葉県	農業競争力強化農地整備事業	豊和	千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.07	○	○	○	—	継続する	R4年度予算を要求する	本地区は、現在までに区画整理のうち整地は完了し、農道や農業用排水路の整備も計画どおり実施しており、事業進捗率(事業費)は68%となっている。 残工事については、幹線農道及び暗渠排水であり、計画的に整備を進める予定となっている。 本事業により、基盤整備が行われた農地では、区画の大区画化による営農の効率化や、農業用水の安定確保が可能となり、担い手への農地集積が事業実施前に比べ42%の増となるなど、事業の効果が認められる。今後、幹線農道や暗渠排水の整備により農業生産性の向上などの更なる事業効果の発現が期待される。 今後ともコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる	
中国四国農政局	愛媛県	農業競争力強化農地整備事業	新宮・藤木	愛媛県	○	○	○	—	○	○	○	○	1.06	○	○	○	○	継続する	令和4年度予算を要求する	本地区は、事業着手後に地区内に存在する埋蔵文化財包蔵地において、試掘調査を実施した結果、包含層が当初想定より浅い位置で確認され、発掘調査を追加したことなどから完了工期が延伸することとなった。現在では区画整理、暗渠排水や用水路整備が進み、令和5年度に事業完了する見込みとなっている。 担い手への農地集積率を増加させるなど、経営規模拡大を進めているほか、きゅうりやさといも等の高収益作物の栽培にも取り組んでおり、事業効果が発揮されている。 今後とも生産性の高い営農を行えるよう若年層の担い手を育成すると共に、環境に配慮しつつ計画的な事業実施に努められたい。	予算を割り当てる	
関東農政局	千葉県	水利施設等保全高度化事業	北総中央Ⅱ期	千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.18	○	○	○	—	継続する	R4年度予算を要求する	本地区は、現在のところ進捗が遅れているが、本事業により、既に排水施設の整備がなされた地域では、湛水被害の軽減や労働環境の改善などの事業効果が認められる。 事業の長期化の要因となっている洪水調節池の下流域関係者との協議状況を踏まえた事業計画の変更を行っているところである。 また、井戸から河川水への水源転換を図る用水施設の整備については、県や市、国が一体となって、小規模な用水ブロック毎の施設整備を行い、それを波及させて、段階的に整備を推進する取組を開始している。 今後ともコスト縮減を図りつつ、早期の事業完了に向け、関係自治体と調整を図りながら着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる	
関東農政局	神奈川県	水利施設等保全高度化事業	相模川右岸	神奈川県	○	○	○	—	○	○	○	○	1.23	○	○	○	—	継続する	R4年度予算を要求する	本地区は、現在までに農業用排水路の整備が概ね完了し、事業進捗率(事業費)は82%となっている。 残工事については、農業用排水路の一部区間であり、計画的に整備を進める予定となっている。 本事業により、農業用排水路の改修が行われたことから、用水の安定供給や農業生産性向上のほか、親水機能等の地域環境の向上、防火用水機能の発揮など、事業の効果が認められる。 今後ともコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる	

評価主体	都道府県名	事業名	地区名	事業主体名	項 目														事業主体の実 施 方 針	事業主体の 予算要求方針	技 術 検 討 会 の 意 見	補助金交付の方針	備 考
					ア		イ		ウ		エ		オ	カ	キ	ク							
					①	②	①	②	①	②	①	②	B/C				その他						
関東農政局	山梨県	水利施設等保全高度化事業	岩手	山梨県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.53	○	○	○	－	継続する	R4年度予算を 要求する	本地区は、現在までに農業用排水路及び農道の整備 が概ね完了し、事業進捗率(事業費)は81%となっている。 残工事については、荒廃農地を含む一部農地の区画整 理等であり、計画的に整備を進める予定となっている。 本事業により、基盤整備が行われた農地では、農業用 排水路や農道の整備による営農の効率化や観光農園への アクセスの改善など安定した営農が実現するとともに、新規 就農者が増加するなど、事業の効果が認められる。 今後ともコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に 事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる		
関東農政局	山梨県	水利施設等保全高度化事業	黒駒西	山梨県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.86	○	○	○	－	継続する	R4年度予算を 要求する	本地区は、現在までに農業用排水路及び農道の整備 が概ね完了し、事業進捗率(事業費)は82%となっている。 残工事については、荒廃農地を含む一部農地の区画整 理等であり、計画的に整備を進める予定となっている。 本事業により、基盤整備が行われた農地では、農道整備 による営農の効率化や区画整理による高収益作物への転 換が促進されるとともに、営農条件が改善された農地に企 業が新規農業参入するなど、事業の効果が認められる。 今後ともコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に 事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる		
関東農政局	静岡県	水利施設等保全高度化事業	重須	静岡県	○	○	○	－	○	○	○	○	1.46	○	○	○	－	継続する	R4年度予算を 要求する	本地区は、現在までに農業用水路、区画整理及び防災 安全施設の整備が概ね完了し、事業進捗率(事業費)は 77%となっている。 残工事については、一部の農道等であり、計画的に整備 を進める予定となっている。 本事業により、農道整備、農業用水路の整備、区画整 理など 基盤整備が行われた農地では、営農の効率化や みかんの生産額の増加など安定した営農が実現し、事業 の効果が認められる。 今後ともコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に 事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる		
九州農政局	佐賀県	水利施設等保全高度化事業	鳥栖南部	佐賀県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.06	○	○	○	○	継続する	令和4年度予算 を要求する	本地区は、関連事業で整備された筑後大堰の供用が開 始されている。既に用水路、揚水機場が整備されたほ場 では、いちごやアスパラガス等の野菜を中心とした安定した農 業が行われる等、効果が発現している。今後とも用水路を 整備し、コスト縮減を図りつつ、着実な事業の推進が望まれ る。	予算を割り当てる		
九州農政局	佐賀県	水利施設等保全高度化事業	佐賀西部高域	佐賀県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.20	○	○	○	○	継続する	令和4年度予算 を要求する	本地区は、関連事業で整備された嘉瀬川ダムの供用が開 始されている。既に用排水施設が整備されたほ場では、野 菜等を中心とした営農へ転換され、安定した農業が行われ る等、効果が発現している。今後とも用排水路を整備し、コ スト縮減を図りつつ、着実な事業の推進が望まれる。	予算を割り当てる		

評価主体	都道府県名	事業名	地区名	事業主体名	項目														事業主体の実施方針	事業主体の 予算要求方針	技術検討会の意見	補助金交付の方針	備考
					ア		イ		ウ		エ		オ	カ	キ	ク							
					①	②	①	②	①	②	①	②	B/C				その他						
九州農政局	宮崎県	水利施設等保全高度化事業	鹿児島1期	宮崎県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.11	○	○	○	○	継続する	令和4年度予算を要求する	本地区は、関連事業で整備された浜ノ瀬ダムの供用が開始されている。既に用水施設の整備や区画整理が実施されたほ場では、里芋、ごぼう等の露地野菜や飼料作物を中心とした安定した農業が行われる等、効果が発現している。今後とも用水施設や農道を整備し、コスト縮減を図りつつ、着実な事業の推進が望まれる。	予算を割り当てる		
九州農政局	鹿児島県	水利施設等保全高度化事業	第二下久志	鹿児島県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.42	○	○	○	○	継続する	令和4年度予算を要求する	本地区は、関連事業で整備された徳之島ダムの供用が開始されている。既に用水施設の整備や土層改良が実施されたほ場では、ばれいしょ等の高収益作物へ転換され安定した農業が行われる等、効果が発現している。今後とも土層改良を実施し、コスト縮減を図りつつ、着実な事業の推進が望まれる。	予算を割り当てる		
関東農政局	茨城県	農村地域防災減災事業	福岡堰4期	茨城県	○	○	○	－	○	○	○	○	1.15	○	○	○	－	継続する	R4年度予算を要求する	本地区は、現在までに農業用排水路の整備が概ね完了し、事業進捗率(事業費)は97%となっている。 残工事については、一部区間の農業用排水路であり、計画的に整備を進める予定となっている。 本事業により、地盤沈下による逆勾配など機能が低下した農業用排水路の改修を行うことで、必要な水量が確保されるとともに、湛水被害が防止され、農業経営の安定と生産性の向上が図られるなど、事業の効果が認められる。 今後ともコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる		
関東農政局	埼玉県	農村地域防災減災事業	稲荷木落	埼玉県	○	○	○	－	○	○	○	○	1.66	○	○	○	－	継続する	R4年度予算を要求する	本地区は、採択後の関係機関との協議調整に時間を要したことから、計画変更を行い、事業工期を大幅に見直している。現在までに農業用排水路の整備の概ね半分が完了し、事業進捗率(事業費)は55%となっている。 残工事については、上流区間2路線の農業用排水路の整備となっている。 本事業により、農業用排水路の整備が行われた地域では、排水能力向上など事業の効果が認められる。 今後ともコスト縮減を図りつつ早期事業完了に向け、関係自治体と調整を図りながら着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる		
関東農政局	静岡県	農村地域防災減災事業	袋井東	静岡県	○	○	○	－	○	○	○	○	1.22	○	○	○	－	継続する	R4年度予算を要求する	本地区は、現在までに農業用排水路の整備が概ね完了し、事業進捗率(事業費)は81%となっている。 残工事については、農業用排水路の一部区間と着手済みの遊水池であり、計画的に整備を進める予定となっている。 本事業により、農業用排水路が整備され湛水被害が軽減されるとともに、農地の排水性が改良されたことにより、水稻の安定的な生産に加え、裏作でのレタス栽培なども行われ、作物生産量の増加など事業の効果が認められる。 今後ともコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる		

評価主体	都道府県名	事業名	地区名	事業主体名	項 目														事業主体の実 施 方 針	事業主体の 予算要求方針	技 術 検 討 会 の 意 見	補助金交付の方針	備 考
					ア		イ		ウ		エ		オ	カ	キ	ク							
					①	②	①	②	①	②	①	②	B/C				その他						
中国四国 農政局	山口県	農村地域防災減災事業	中の森2期	山口県	○	○	○	-	○	○	○	○	3.40	○	○	○	-	継続する	令和4年度予算 を要求する	本地区は、事業着手後に豪雨により新たな地すべりの兆候が見られたため調査観測及び対策工実施に時間を要し、完了工期が延伸することとなったが、現在では対策工もほぼ完了しており、令和4年度には概成し事業完了する見込みとなっている。 近年の集中豪雨等の異常気象が頻発するなかで地すべり対策を行うことは、棚田を維持し農村地域の安全安心な暮らしや国土保全を図るため重要である。 対策工の効果について十分な経過観察を行い、地域住民が安心して営農や生活が行えるよう、計画的な事業実施に努められたい。	予算を割り当てる		
中国四国 農政局	愛媛県	農村地域防災減災事業	河野	愛媛県	○	○	○	-	○	○	○	○	2.81	○	○	○	-	継続する	令和4年度予算 を要求する	本地区は、堤体掘削時の遺物や土取場における埋蔵文化財が確認され、工事を中断せざるを得なくなったこと等から進捗に遅れが生じ、完了工期が延伸することとなったが、現在では事業実施が可能な状況になっており、令和5年度に事業完了する見込みとなっている。 近年の集中豪雨等の異常気象が頻発するなかでため池等の整備を行うことは、地域の農業経営の安定と地域住民の安全安心につながる事業であり重要である。 事業の効果が早期に発揮され地域住民が安心して営農や生活が行えるよう、環境に配慮しつつ計画的な事業実施に努められたい。	予算を割り当てる		
九州農政局	佐賀県	農村地域防災減災事業	佐賀中部	佐賀県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.46	○	○	○	○	継続する	令和4年度予算 を要求する	本地区は、関連事業の工期延長等により、事業工期が延伸しているが、本事業の進捗率は90%に達しており、地盤沈下被害の防止・軽減や水利用の効果も発現している。近年、集中豪雨等の異常気象が頻発していることから、今後も地元の意向を踏まえ、コスト縮減を図りつつ、事業の早期完了が望まれる。	予算を割り当てる		